

令和5年度 学校評価評価票（学校評議員 用）

本年度の重点目標

- (1) 主体的に学び、思考・判断することで、自らの未来を切り拓き学び続ける生徒を育てる（思考力）
- (2) 自律の精神を養い、社会の一員としての自覚と自己実現のために行動する生徒を育てる（行動力）
- (3) 心身の健康増進を図り、さまざまな事に挑戦し粘り強くやり遂げる逞しい生徒を育てる（忍耐力）
- (4) 郷土や他者を愛し、協働する喜びと多様な価値観を認め合う人間性豊かな生徒を育てる（友愛力）
- (5) 学校における働き方改革を推進し、教職員相互の資質能力を高め合う職場づくりに努める（働き方改革）

【内部評価】本校教職員による評価については、各々A～Dで示した。
A：十分である B：おおむね十分である C：やや不十分である D：不十分である

【評議員の評価】A～Dの該当に○を記入願います。

A: 適切

B: ほぼ適切

C: やや不適切

D: 不適切

↓

評価対象	評価項目		自 己 評 価			評議員の評価	
			達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学習指導	1	学習量の確保、知識の定着、学びに向かう態度の育成について工夫・改善することができたか	B	B	(1) 基礎・基本の定着を図るため指導方法の工夫・改善に努める。 (2) 主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善や観点別評価と、教科横断的な活動を推進する。 (3) ICTを有効活用する。	A	A
	2	思考の活性化や学びの過程を重視した教科指導法や授業づくりを実践することができたか	A	A			
	3	毎時の学習課題（目標）の提示や振り返りにより学習意欲の喚起を図ることができたか	C	B			
	4	思考力・判断力・表現力の育成に向けた取組について工夫・改善を図ることができたか	B	B			
ご意見・ご要望							
生徒指導	5	生徒指導方針を理解し、望ましい基本的生活習慣の定着を図ることができたか	B	B	(1) 教職員間の連携強化を積極的に行い、情報共有するとともに、課題予防的指導・課題未然防止教育の充実を図る。 (2) 主体的に行動する生徒を育成する。	A	A
	6	自己管理能力の向上について保護者と連携し、意図的・計画的に実施することができたか	B	B			
	7	個に応じたきめ細やかな教育相談や心の通い合う指導をすることができたか	B	B			
	8	生徒会活動や部活動等で生徒の主体性を養い、活性化を図ることができたか	A	A			
ご意見・ご要望							
進路指導	9	主体的な生き方・学び方に繋がるキャリア教育の充実を学年に応じて実施することができたか	A	A	(1) 学年・分掌等が連携して3年間を見通したキャリア教育を計画・推進し、身に付けさせたい資質・能力を教職員間で共通理解を図る。 (2) 多様な進路目標実現に向け、地域や関係機関等と連携し職業観や勤労観を育成する。	A	A
	10	望ましい職業観、勤労観を養うために地域の教育力を生かすことができたか	C	B			
	11	計画的な講習、模試・検定等を活用し実力を養成することができたか	B	B			
	12	入試改革の動向をふまえた校内体制の整備や進路活動の取組を適切に行うことができたか	B	B			
ご意見・ご要望							
健康安全指導	13	自他の生命や多様な価値観を尊重する態度の育成を計画的に実施することができたか	A	A	(1) 自他の生命の尊さや基本的生活習慣の定着を図り、自己健康管理能力を育成する。	A	A
	14	自らの心身について健康管理や危険回避する態度・能力を養うことができたか	B	B			
	15	様々な教育活動を通して自己有用感や社会性を身に付ける態度を養うことができたか	B	B			
	16	様々な教育活動を通して主体的に心身の健康増進を図る態度を養うことができたか	B	B			
ご意見・ご要望							
組織運営	17	学校教育目標について共通理解を深め、その具現化のための取組を推進することができたか	C	B	(1) 学校教育目標の具現化を図るため、諸課題に対し学年・分掌をはじめとする協働体制を整え、教職員相互の連携強化に努める。 (2) 迅速な報告・連絡・相談を確実に図り、組織として共通認識を持った丁寧な学校運営に努める。 (3) 組織についても改善の見通しが立っている。	A	A
	18	実践的な危機管理・安全管理について組織として工夫・改善することができたか	A	A			
	19	学校の諸課題に対し、学年や分掌、委員会等が互いに連携して適切に対応することができたか	B	B			
	20	学校の諸課題に対し、不易と流行を意識し、創意工夫ある取組を行うことができたか	C	B			
ご意見・ご要望							

評価対象	評価項目	自己評価			評議員の評価	
		達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
いじめ対策	21 「いじめ防止基本方針」にもとづく対応を適切に行うことができたか	B	B	(1) いじめ防止対策委員会を更に活発に推進することで、いじめの早期発見、早期解消の取組を継続して重視するとともに、生徒の自主的な取組も生かしながらいじめ根絶を図る。 (2) 定期的なネットパトロールを通じてタイムリーな指導及び情報発信に努める。	A	A
	22 早期発見の体制整備や人間力向上を育成する教育活動を推進することができたか	A	A			
	23 SNS等によるネットいじめ防止のための情報モラル教育を適切に実施することができたか	B	B			
	24 いじめの問題について適切に情報提供するなど保護者等と連携して対応することができたか	B	B			
ご意見・ご要望						
信頼される学校づくり	25 校務等の業務計画・事務処理について根拠を持って適切に対応することができたか	B	B	(1) 生徒、保護者、地域の期待に応えるため法令及び服務規律を遵守し、自己研鑽に努め資質能力の向上を図る。 (2) 地域や関係機関等との連携を密にし、情報発信等を通じて教育活動への理解と協力を図る。	A	A
	26 いかなる場合も教育公務員としての自覚と服務規律を遵守し行動することができたか	A	A			
	27 生徒に対する体罰や不適切な指導を厳に慎む態度で教育活動を推進することができたか	A	A			
	28 経験に応じた研修に努め、自らの資質能力向上を図ることができたか	A	A			
ご意見・ご要望						
今日的課題	29 部活動の基本方針に基づいて適切な活動や指導に努めるよう工夫・改善することができたか	B	B	(1) 北海道アクションプランを理解した部活動指導や校務平準化を図り、働き方改革に努めることにより、生徒と接する時間を多く確保する。	A	A
	30 北海道アクションプランを理解し、勤務時間を意識した働き方に創意工夫をこらすことができたか	B	B			
	31 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止について生徒の指導に努めることができたか	A	A			
	32 新学習指導要領の研修に努め、理念実現に向けた授業づくりを実践することができたか	A	A			
ご意見・ご要望						
全体を通じてのご意見・ご要望						